数年前にあった事業仕分けで「次世代スパコン・京」が取り上げられ，世界一を目指すべきか，どのような政策効果を期待するか，などさまざまな議論が沸き起こりました。スパコン京の話に限らず，数値シミュレーションには，さまざまな役割が期待されています。例えば，部品の設計や開発に利用する場合は，相対的な善し悪しを判断して，ほどほどの結果を短時間に得る場合もあるでしょう。一方，地震や強風などの被害を予測するためには，実現象を正確に再現し，少なくとも過小評価をしないことが大切です。一口に数値シミュレーションと言っても，得意な部分と不得意な部分をしっかりと認識し，「数値シミュレーションですべてが再現できる」と楽観的になりすぎたり，「所詮は数値シミュレーションだから」と悲観的になりすぎたりせず，適用範囲や結果の精度を正しく認識することが大切だと思います。

さて，来月号の特集は「超電導・リニア技術とその応用」です。超電導リニアの技術開発で培った超電導材料や冷凍，リニアモーター技術を在来鉄道や一般分野に適用するためのさまざまな研究開発について，最新の成果を紹介する予定です。どうぞご期待ください。（K.K.）